

アドミッション・ポリシー（入学者受け入れの方針）

日本語科では、日本語と日本文化を深く理解し、日本だけではなく海外での活躍を目指す留学生や日本の文化や技術を海外に発信しようとする次のような人たちを求めます。

- 1 介護福祉科への進学を意識し、より高度な言語力・知識を身につけたいという意欲のある人
- 2 社会の一員として、協調性を持ち、ルールを守って自立した行動を目指す人
- 3 進学に向け、日本語能力試験N2を目標とし、勉学に励むことのできる人
- 4 母国語にて日常生活レベルの会話や作文ができ、且つ他者と積極的に意見交換ができる人
- 5 質問をする、記憶をするなどをして目標達成まで努力できる人
- 6 日本語能力試験N4相当の日本語力を持つ人

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成方針）

日本語科では、卒業認定のために、授業科目を「日本語初級」「日本語初中級」「日本語中級」「日本語上級」の4つに分け、段階的に編成して、日本語教育を実施します。

○1年次

日本語初級から初中級までの文型を基礎から体系的に学習し、運用力を養います。「依頼ができる」など留学生活を送る上で必要な行動目標を遂行するため、学習者が自ら考え、発信できることをねらいとしています。日本語能力試験N5・4の漢字の読み書きを基本的なものから学習し、さらに部首の意味を理解することで、新出語彙の意味も推測できるような応用力をつけます。異文化間コミュニケーション能力の育成のため、学習の場を地域に広げ、日本のマナーや文化についても学んでいきます。

1年次から進路実現の一環として、先輩留学生との交流を交えた介護福祉科の授業見学も実施します。

○2年次

「日本語初級・初中級」終了後、「日本語中級」の学習として、日本語能力試験N3で出題される語彙や文型を習得します。また、一般的な事柄や抽象的なテーマについての会話力や、多様な文章を段落を意識して読み、意見や感想などを短い作文として書く能力を養います。

さらに、2年コース（4月生）と1.8年コース（7月生）では「日本語上級」の学習として、より複雑な文型を学びます。また、各課のテーマで掲げられた問題点を学生同士若しくは教員と共有した上で、自分なりの見解を持ち、発話意図、スピーチレベル（書き言葉、話し言葉）、各場面に合わせた適切な表現を使い分け、他者と意見交換ができる能力を身に付けます。日本語能力試験対策として、文章を読む速度や聞き取り能力を高め、要点を的確にとらえる力も養うほか、模擬試験も実施します。

ディプロマ・ポリシー（卒業認定）

日本語科では以下の知識や能力を身に付け、必要単位を修得した学生に卒業を認定します。

- 1 日本語能力試験N3相当の知識・能力を備えている。
- 2 日本語コミュニケーションのための4技能（読む、書く、聞く、話す）の運用力を習得し、それらを実社会において目的に応じて駆使する力を備えている。
- 3 国際相互理解に努め、母国と日本の架け橋としての使命感を備えている。
- 4 日本語力を向上させ、必要とされる世界のコミュニティに積極的に貢献したいという意欲がある。